

説明的文章

チェック

氏名 年組 番号 ID

5問

答え

問1 イ

問2 話し言葉と書き言葉

問3 明治時代の初め

問4 言文一致

問5 ウ

解説

問1 筆者は、最初に「現代の私たちは、文章を書くときに、日ごろ会話で使うのとはほぼ同じ言葉遣いで書いています」と主張している。そのあとに「現代でも話し言葉と書き言葉には違いがあります」と述べ、その具体例を挙げているが、これは予想される反論を紹介しているにすぎない。そして、さらにそのあとでは「現代の話し言葉と書き言葉は、それほど大きく違っているわけではない」と、再び自分の主張にもどっている。このように、いったん自分の主張に対する反論や条件を紹介し、そのあと再び自分の主張にもどる場合には、「もちろん(むろん・たしかに)……しかし(だが)……」の形がよく用いられる。

問2 「両者」は、原則としてそれより以前に述べた二つのことを指す。ここでは前段落の「現代の話し言葉と書き言葉は、それほど大きく違っているわけではない」とは「話し言葉と書き言葉」を指している。

問3 「当時」とは「そのころ」という意味で、「過去のある時期」を表す。ここでは「明治時代の初め」を指している。

問4 直前の「山田美妙、森鷗外、夏目漱石などの小説家たちも……」の「も」に着目する。「……も」ということは、前に書かれている二葉亭四迷と同じよ

うに、「山田美妙、森鷗外、夏目漱石などの小説家たち」も「言文一致」の文体で小説を書いたということである。

問5 最後の段落に「現代の私たちが書き記す文章は、この明治時代の中頃から後期にかけて作られた口語文の伝統を受け継いでいるのです」とある。「現代の私たちが書き記す文章」とは、「現代の書き言葉」のこと。従って、ウが正解である。

説明的文章

チェックプラス

氏名 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ ID: _____

7問

答え

- 問1 虫がつきにくい
- 問2 カンフォール
- 問3 化学物質・化学的防衛
- 問4 イ
- 問5 進化の過程・複雑な関係

解説

問1 次の第二段落で理由がくわしく説明され、「クスノキが様々な物を作る材料として重宝されたのは、虫がつきにくいという立派な理由があったわけである」とまとめられている。ここから「虫がつきにくい」を書き抜く。

問2 直後に「という化学物質」と続いているので、「化学物質」という言葉を手がかりに探す。すると、前に「『カンフォール』という化学物質」とあるので、ここから「カンフォール」を書き抜く。

問3 「この防衛策」は、前段落の「化学的防衛」を指している。「化学的防衛」のくわしい内容は、さらに前の「化学物質を作り出すことによって、虫に食べられないよう、自己を防衛している」から読み取ることができる。これらから、「化学物質」「化学的防衛」があてはまる。

問4 直後に「ほかの昆虫が見向きもしなければ」とあるのに着目する。「ほかの昆虫が見向きもしない」とは、「クスノキの葉を食べるほかの昆虫がいらない」という意味である。従って、「ライバル」とはイの「クスノキの葉を食べるほかの昆虫」のことである。

問5 直後の「その一例」の「その」が指している内容をとらえる。「植物と昆虫は、進化の過程で互いに影響し合いながら、複雑な関係を作ってきた」とあ

るので、これを「……の例。」の形に、語順を変えてまとめ直すと「植物と昆虫が進化の過程で互いに影響し合いながら作ってきた複雑な関係の例。」となる。ここから「進化の過程」「複雑な関係」があてはまる。

説明的文章

アドバンス

氏名 _____ 年 _____ 組 _____ 番 ID: _____

7問

答え

問1 A エ B ア

問2 見れるという言い方

問3 (例) 受け身や尊敬と可能の使い分けができるという利点。

問4 a 受け身や尊敬 b 可能

問5 ウ

解説

問1 Aには「世間一般いっぱんに言われる」という意味の、エの「いわゆる」があてはまる。Bでは、前後が「あれか、これか」のどちらかを選ぶという関係になっているので、アの「あるいは」があてはまる。

問2 前で述べられた「議論」のテーマである「見れる」という言い方があてはまる。「『見れる』という言葉」も内容的には同じだが、字数に合わない。

問3 直前に「『見られる』のほかに『見れる』という言い方を認めると」とあるのに着目する。これと同じ内容の語句は、あとの「『見られる』と『見れる』の両様を容認すれば」である。このあとに「この使い分けができるのだ」とある。「この使い分け」とは、「受け身や尊敬と可能の使い分け」という意味である。以上をもとに、「受け身や尊敬と可能の使い分けができるという利点。」とまとめる。

問4 前に「見られる」と「見れる」の使い分けについての説明がある。「受け身や尊敬の場合は『見られる』、可能の場合は『見れる』である」とあるので、これに準じると、「受け身や尊敬の場合は『着られる』、可能の場合は『着れる』を使う」ということになる。従って、aには「受け身や尊敬」、bには「可能」があてはまる。

問5 直前に、筆者が「変えられる」「助けられる」などには「未だ慣れることができない」ということが述べられている。つまり、新しい言い方に慣れることができないということなので、「古い伝統や考えを守っていきこうとする傾向が強い様子」という意味の、ウの「保守的」があてはまる。